

議案第30号 令和7年度牧之原市一般会計予算に対する附帯決議

令和7年度牧之原市一般会計予算については、人口減少や少子高齢化などの喫緊の課題に対応するため、第3次総合計画における5つの重点戦略・プロジェクトを積極的に推進するための様々な事業の執行が計画されており、247億5,000万円という過去最大の予算規模となっている。

牧之原消防署榛原出張所整備事業、GIGAスクール構想事業に係る学習用端末更新事業、大井川広域水道と榛南水道の経営統合に係る出資金などの大型事業が令和7年度に集中していることも要因の一つではあるが、新火葬場整備事業、義務教育学校建設事業などの今後も引き続き多額の費用を必要とする事業も控えている状況である。

令和7年度に限らず、本市の一般会計予算については財政調整基金を取り崩しながらの予算編成となっており、今後も厳しい財政運営が求められることとなる。

以上のことから、令和7年度牧之原市一般会計予算の執行に当たっては、下記事項について十分配慮して取り組むことを求める。

記

- 1 財政調整基金は、不測の事態や年度間の財源不足に備え積み立てるものであることから、一定額を確保しておくことは今後の市政運営にとって重要なことである。よって、適正な財政執行に努め、財政調整基金の取り崩し額を必要最低限とすること。
- 2 今後も大型事業を控えている中ではあるが、物価高騰などの影響により、現在見込んでいた経費から増額となることが予想される。将来に負担を残さないためにも、各事業を実施する際にはより慎重に検討するとともに、必要な財源の確保に積極的に取り組むこと。

以上、決議する。

令和7年3月25日

牧之原市議会